

子どもが不審者に出遭った時、どうしたらいいかを「いかのおすし」で教えています。①知らない人についていかない②知らない人の車にはのらない③おおよそでさげふ④すぐ逃げる⑤家の人に知らせることです。

全国の子ど

も710人を対象とした調査結果によると、前兆事案や被害体験者は107人で約15%。子どもの対応は、年齢、性別で異なりますが、「走って逃げた」が44%で最も多く、「何

子どもの不審者対応

もできなかった」が23%。「大声を出した」「子ども110番の家へ駆け込んだ」などは1%以下でした。

不審者は普通の身なりで「優しさ」を装うので外見だけでは判別が難しい。そこで①親子で110番の家へ挨拶に行く②親子でご近所と知り合う③地域の人は下校時には買い物や散歩、玄関先に出るなどして子どもを守る、などが大切です。

防犯一口メモ